

第一回 地域サポート学校薬剤師研修会

柏市学校薬剤師会支部長 大塚 昌孝

今年度より、地域学校薬剤師サポート事業として千葉県学校薬剤師会で地域支部単位での研修会をバックアップする事業が始まりました。休日になかなか千葉県薬剤師会会議室まで研修に参加できない方もおりますので、何とかしなくてはとの思いから提案され、研修会場費や講師謝礼、配布物・研修シールの手配など県の学校薬剤師会が負担してくれています。第一弾として9月4日（水）午後7時30分より野田・松戸・我孫子・柏支部合同の学校薬剤師研修会がアミューズ柏にて開催されました。平日の夜にもかかわらず51名の参加者があり、皆さんの熱心さは本当にすばらしいと感じました。

最初に柏市保健所生活衛生課 専門監 岩崎とし子様より「保健所における給食室検査について」最近の食中毒の傾向や保健所が行う検査の概略と検査時にチェックする点や指導事項に関しての貴重なお話を聞くことが出来ました。

柏市立中学校の学校給食で平成23年ヒスタミン中毒が発生し保健所が調査し、カジキマグロが特定されたため、その後該当する種類の魚は柏市では給食材料としては入れていないとのお話がありました。質疑応答で、仮に食中毒が発生した場合の給食室の使用停止日数についてがあり、通常0～10日の範囲で決められていて、発生源の原因を特定でき再発防止策が出来れば3～4日にて再開可能との回答がありました。しかし学校給食で食中毒を出してしまえば多くの子供たちが被害にあうため、食中毒を出さないように再度、学校側と話し合い、私たち学校薬剤師も気を引き締めていこうと思いました。

続いて「学校環境衛生検査基準の解説と主な事後措置について」千葉県学校薬剤師会相談役の金親 肇先生より解説いただきました。学校薬剤師が配置された経緯や歴史などから始まり、実際の環境衛生検査の基準や手順の再確認や千葉市で行われている検査も合わせて解説いただき、他の支部ではここまで自分たちで行っているのかと良い勉強になりました。経緯や歴史なども実習生を受け入れられている学校薬剤師の先生方にとっては参考になったのではないかと思います。時間が許せばもっと皆さん色々なことを質問してみたかったと思いますが、遅い時間からの研修会だったため惜しまれながらも閉会となりました。

今回の「地域サポート学校薬剤師研修会」を通じ、今後も地域ごとの学校薬剤師のつながりや情報交換が出来る場が多く持てると良いと実感いたしました。



講演中の金親 肇先生